会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称 令和6年度第2回松川町環境審議会
- 2 開催日時 令和6年10月9日(水) 午後6時30分から午後8時25分まで
- 3 開催場所 松川町役場2階 協議会室
- 4 出席者氏名(敬称略)
出席委員 11名
米山 郁子、細田 勉、坂巻 勲、佐々木 孝子、正井 広昭、山崎 隆
小椋 吉範、鎌倉 正孝、知久 克志、小川 隼人、保城 充子
欠席委員 3名
米山 由子、橋爪 和也、久保田 菜美子
事務局 住民 税 務 課 伊藤 孝光、田中 健、塩澤 蓮
業 務 委 託 者 RE諏訪湖株式会社 2名
- 5 議題(公開又は非公開の別)
①第5次松川町環境基本計画について 公開
②松川町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定について 公開
③松川町脱炭素施策別ロードマップについて 公開
- 6 非公開の理由(会議を非公開とした場合)
- 7 傍聴人の数 0人
- 8 会議資料の名称
○第5次松川町環境基本計画(骨子案2)【資料1】
○第1回松川町環境審議会における意見と対応【資料2】
○松川町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)概要版【資料3】
○松川町脱炭素施策別ロードマップ【資料4】
○第5次松川町環境基本計画(骨子案2)訂正箇所一覧【資料5】※当日配布
○ウェルビーイングと環境基本計画【資料6】※当日配布
- 9 審議の概要
(1) 開 会 副会長

(2) あいさつ 会長

(3) 会議事項

①第5次松川町環境基本計画について

・・・【資料1】【資料2】【資料5】【資料6】 事務局

(委 員)

食品ロス削減については、町の生ごみを減らすということであれば20・10運動を推進していくことよりもフードリサイクル事業の参加者を増やしていける施策を考えていく方が町のためになっていくのではないかと。

また、ごみゼロ運動自体が目的というような説明があったが、ごみゼロ運動については、長年実施してきてあまりうまくいっていないのであれば、この運動に力を入れるのではなく、本当にごみがゼロになる方法について検討していくべきではないかと。手段が目的となってきたものがいくつか見られると思うのでそこをうまく修正してほしい。

目標指標について、ごみの排出量(町民1人1日当たりのごみ排出量も含めて)は5年かけて5%削減は適正なのか。しっかりとした取り組みをすれば1年で5%削減は達成できるのではないかと。自然エネルギーの補助件数についても、目標値の根拠が実績ベースということだが、本当に適正なのか。地域を知る講座などの参加者も現状維持、不法投棄の件数も3件減らすことを目標としているがどうなのか。

(事務局)

フードリサイクル事業については、回収ボックスの設置個所が町内でも限られており、担当でも今後の事業方針を検討しているところであり、参加者増に対する施策についても課題と認識している。

ごみゼロ運動についても、区会や自治会へ依頼して実施を行っているが、今後も同様の方法で実施していくことが正しいとは考えておらず、実施方法は単にごみ拾いだけではないと考えているが、具体的な事業の内容は検討していく必要がある。

目標指標について、ごみの排出量は、前計画の目標値及び計画期間終了時の実績を根拠に5%削減を設定している。自然エネルギーの補助件数は、ご指摘のとおり過去の実績から目標指標を設定しているため、適正な数値かどうか精査していく。

(委 員)

検討していくということは良いことだと思う。「今までこうしていたからこれでいいや」では絶対変わっていかないため、検討に1～2年ほど時間がかかっても良いと思う。検討することを施策に盛り込むことも良いのではないかと。

(事務局)

参考にさせていただく。

(委 員)

補助金事業について、森のエネルギー推進事業補助金は毎年すぐに予算が尽きてしまう印象がある。計画の目標指標一覧にも実績値と目標値があるが、町の予算に限度があるのであれば、補助可能件数が決まってしまう。そのため、予算額を増やせば補助実績も増えるのではないかと。

(事務局)

予算額が補助可能件数の上限となってしまうが、年度内で補助可能件数を超過してしまった場合でも協議のうえ、可能な限り多くの方に申請いただけるように努めている。

(委 員)

補助金を大きくするよう予定はないのか。

(事 務 局)

今後の補助金の方針については、この場では明言できないが、拡張していく必要があれば財源を確保するなどの対応が必要になってくる。

(委 員)

河川の水質検査の目標値について、大腸菌数の目標値が9CFU/100mlから300CFU/100mlとなっており、現状維持が目標という説明があったが、その場合に多少汚染されても基準値以内だから大丈夫という判断になってしまうのではないか。また、町の河川の水質検査結果は公表されているのか。

井戸水の水質検査が毎年実施されていると思うが、今年から町の取りまとめがなくなり、各自保健所へ持って行くようになっている。要望として、従来通り、町で取りまとめいただきたい。

(事 務 局)

目標値の300CFU/100mlは国の基準を用いて設定している。実績値と目標値を比較した際に、見た目は数値が上がっても良いように見えてしまうが、万が一、他の数値を設定する場合、根拠が確認できなかったため、300CFU/100mlと設定している。

現在、水質検査結果の公表は行っていない。PFOSやPFOAについては、国の河川水質検査の要監視項目に設定されているため、項目としては重要と考える。しかし、周辺自治体でも実績が確認されておらず、費用についても高額であるため、今後の検討が必要になる。

井戸水の水質検査については、要望として担当課へ共有します。

(委 員)

水質検査結果については、せっかく実施しているので公表してもらえると嬉しい。

(事 務 局)

参考にさせていただく。

(委 員)

「森林の整備及び保全」について、基本方針が「水環境等の保全」となっているため、施策内容も自然環境保全につながってくるものになると思うが、およりの森は観光資源に関連しており、方針と趣旨が異なるのではないか。そのため、内容的には「景観の保全」の取り組みへ記載した方が良いのではないか。

(事 務 局)

担当部署へ共有する。

(会 長)

現在、担当課で地域整備計画を作成していると思うが、内容を関連付けられるように検討してほしい。

②松川町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定について

・・・【資料3】 事務局

③松川町脱炭素施策別ロードマップについて

・・・【資料4】 RE諏訪湖（株）

（委 員）

二重サッシの普及へ興味があるが、ロードマップでは具体的にどこに該当するのか。

（RE諏訪湖（株））

資料4「(d) 省エネルギーの普及推進」の「省エネ機器の導入」に該当する。二重サッシは費用が高額になるが、国と長野県から補助金が出ており、導入しやすくなっている。しかし、各リフォーム等については、項目が広いため、松川町での補助は難しいのではないかと考える。

（委 員）

省エネルギーなどについて、生活していく中でちょっとした情報でも良いのでチャンネルYOUなどを用いて広報してもらえたらうれしい。

（RE諏訪湖（株））

可能な限り情報発信ができるように、考えていきたい。

（委 員）

住民もこのままではいけないということは自覚している。情報を知りたいが、実際どこに相談したら良いのかがわからない。森林整備の様子やアイデアコーナーをチャンネルYOUで広報するなど、環境意識を高めることが一番であるため、今後広報を充実させていくことがとても大切である。

（RE諏訪湖（株））

地域の方が環境のことに興味を持って、今できることを一緒に始めていけるようにすることが重要であるため、皆さんと一緒に進めていければ良いと考えている。

（会 長）

RE諏訪湖（株）は計画を策定に携わってもらう立場であり、実際に実施するのは行政になるかと思うが、担当の意見はいかがか。

（事 務 局）

情報発信はとても重要と考えており、前回審議会でも意見をいただいたようにチャンネルYOUだけではなく、様々な方法で発信していけるよう検討していく。

（委 員）

森林が二酸化炭素を吸収してくれるということは、ゼロカーボンに一番大切なことだと思うが、効率のよい植物は研究されているのか。そういった植物があるのであれば、町民1人1本が植樹するなどの事業を行い、アピールしていくことも良いのではないか。

（RE諏訪湖（株））

長野県は気候的に難しいが、九州などでは5年程で成長する桐を植えて、二酸化炭素を吸着させるといった計画が始まっている。

（会 長）

最近もおよりの森で植樹祭を開催するなど、取り組みを行っている。また、町の森林整備計画にも松川町の樹木の種類などが記載されている。

(5) その他 事務局

意見提出表については、資料としてホームページへの公表を予定しており、今回は10月18日（金）までに提出してほしい。

また、次回の審議会は11月中旬を予定しており、開催通知及び資料については、事前に配布予定。

(6) 閉 会 副会長